

白山地域の自然保護と国立公園

10月13日：糸賀 黎(農林学系)

白山の植生と国立公園等の自然保護

：全員でディスカッション

環境科学特講Ⅲ 『環境倫理学』

世話人 鷺谷 いづみ

11月29日、30日の両日、千葉大学文学部の加藤尚武教授によって環境倫理学全搬にわたる講義が行われた。

(6) 修士論文発表会

昨年度に引き続き、カリキュラム委員会が担当して、平成6年2月7日(月)、8日(火)の2日間にわたって、1人当たり16分(発表12分、質疑4分)の発表会を行った。

| | |
|-----|------|
| 在籍者 | 132名 |
| 発表者 | 116名 |
| 留年者 | 14名 |
| 退学者 | 2名 |
| 修了者 | 116名 |

2. 平成5年度環境科学実習について

実習委員会委員長 田 瀬 則 雄

平成4年度内に、各分野から選出された6名の実習委員(田瀬則雄、中村 徹、東 照雄、佐藤親次、安田八十五、天田高白)により、実習テーマ、担当教官および実習日程の計画を討議した。環境科学に関する基礎的手法、並びに自然・生物環境の巡検、都市・集落の視察、関連施設の見学を通じて環境科学の諸側面を体験的に学習させることを目的とし、平成4年度とほぼ同様の内容で実施計画を策定した。新入生オリエンテーション時にガイダンスを行い、グループ分けを行った。成績の評価は、4回以上の欠席者を除き、各回の成績により総合点を算出し、成績の評価を行った。その結果、受講者122名に対し、A評価117名、B評価4名、C評価0名、D評価1名の評価とした。

平成5年度の実習テーマ、実施日時、担当教官、及び受講学生は以下の通りである。

第1回(全体実習)：共同体社会の生活(映像プレゼンテーション)

4月14日(水), 佐藤(俊), 122名

第2回(全体実習)：発展途上国の環境問題(映像プレゼンテーション)

4月21日(水), 岩崎, 122名

第3回(グループ実習)：試験研究機関の見学

①農林水産省農業環境技術研究所 4月28日(水), 東, 41名

②国立環境研究所 4月28日(水), 臼井, 41名

③国立環境研究所 4月28日(水), 佐藤・下條, 40名

第4回・5回(全体実習)：筑波山と周辺の観察

5月15日(土), 田瀬・中村(徹)ほか, 122名

第6回(グループ実習)：野外における実習

①大気境界層の観測 5月26日(水), 甲斐, 28名

②簡易測量実習 5月19日(水), 松本(栄), 29名

③樹木の胸高直径測定 5月19日(水), 及川, 29名

④ゴミ問題に関する実習 5月26日(水), 安田, 36名

第7回(全体実習)：映像とビデオによる学習－足尾鉍毒問題など－

6月2日(土), 森下, 122名

第8回(全体実習)：筑波大学キャンパスの廃棄物管理

6月9日(水), 中村(以)・島田, 122名

第9回(全体実習)：用廃水管理施設見学

6月16日(水), 島田, 122名

第10回(グループ実習)：野外見学を通じての学習

①霞ヶ浦湖内巡検査 7月2日(金), 前田, 43名

②学園都市の都市施設 7月2日(金), 熊谷・日端, 37名

③河川環境と管理(小貝川流域) 7月1日(木), 天田・鷺谷・小場瀬, 42名